

## 渋谷サステナブル・アワード2022 優秀賞 (聖心女子大学)

### 活動の名称

聖心女子大学 宮代サステナブルキャンパス プロジェクト～SDGs の先へ～

(「宮代」は本学の位置する旧宮代町と、それが由来でつけられた同窓会名の宮代会を意味している)

### 活動の概要

活動期間: 2017年4月(グローバル共生研究所の設立年月)から

頻度: 日常的に実践しているものから定期的な活動まで含まれる。

#### 1. 活動(プロジェクト)のきっかけ

- これまで本学では本学の教育理念のもと、幅広く社会貢献活動が行われてきた。学生課外活動団体はボランティア活動、災害復興支援活動のみならず、SDGsを軸に持続可能社会の実現に向け活動する団体が複数立ち上がり、活発に社会への働きかけをしてきた。
- 持続可能な社会の重要性は更に高まっている。SDGsをめぐる世界的な共通課題としてアーバンサステナビリティ(urban sustainability 都市部の持続可能性)が喫緊の課題として挙げられているが、日本の高等教育機関ではその具体的な実践は乏しいと言わざるを得ない。聖心女子大学は都心の渋谷区に位置しているだけに、アーバンサステナビリティの具現化という課題に取り組みやすい立地条件にある。
- 2023年に本学が創立75周年を迎えることを機に、これまでの意識と知識の蓄積と実践への意欲を一つにまとめ、本学が渋谷区広尾(旧宮代町)に位置する高等教育機関という特性を活かし、近隣地域のサステナビリティを目指すコミュニティメンバーの一員として、学生・教職員が一体となって持続可能なキャンパスづくりを実現するため、「宮代サステナブルキャンパス プロジェクト～SDGs の先へ～」と名づけ、これまでの活動を軸に、更に発展させていく。

#### 2. 活動の主な目的

- サステナブルキャンパスづくりを通して、学生と教職員の協働、大学と地域社会との対話を促進し、建学の精神である「人のために動き、共存社会のために働きかけること」を「当たり前」のこと(聖心らしさ)とし、地球規模の課題を自分ごととして捉え、キャンパスワイドで日常的に行動する文化を創り出す。
- サステナブルキャンパスを学生主導型で作り出すことにより、地域社会の一員として持続可能な社会の実現に向け、積極的に働きかけられるサステナビリティリーダーを育成していく。
- 本学のサステナブルキャンパス計画をアーバンサステナビリティの一環と位置付け、渋谷区の持続可能な社会の実現に貢献できるよう、これまでに締結された区内の機関との連携事業を活かしつつ、近隣地区との連携をさらに強化する。
- 「宮代」は本学の位置する場所(旧宮代町)とそれが由来でつけられた本学同窓会の名前(宮代会)を意味する。このプロジェクトへの参加を通して、その担い手(学生、教職員、同窓生)の本学への帰属意識と持続可能な社会への意識の両方を育む。

### 3. 特色

#### 1) 学生のイニシアティブが作るサステイナブルキャンパス：「若者が動き、大学が変わる」学生主導型サステイナブルキャンパス

これまで本学では、徐々にではあるが世界的な潮流である学生主導の取り組みにより、キャンパス内のエネルギーや食（フードロス）、水、プラスチックを含めたゴミ（廃棄物）、温暖化への緩和・適応など、実践が積み重ねられてきた。

#### サステナビリティに関係する活動を行ってきた学生課外活動団体

Earth in Mind (2007 年活動開始)、Green Thumb (2010 年活動開始)、はなはな SDGs (2017 年活動開始) M.S.S.S.(1948 年大学創立時から活動)、SFT(2006 年活動開始)、SHOC project (2016 年活動開始)、卒業生学生のボランティア活動・社会貢献活動、地域連携の情報提供および支援を、マグダレナ・ソフィアセンターのボランティアルームが行っている。

#### これまでの表彰履歴等

- 2021 年 1 月 Earth in Mind 環境省×TABETE “No-Foodloss” Youth Action Project でオーディエンス賞を受賞
- 2021 年 12 月 Earth in Mind 気候変動アクション環境大臣表彰でユース・アワードを受賞
- 2019 年 10 月 はなはな SDGs 「聖心女子大学で SDGs を知らない学生をゼロへ」文部科学省「教育現場における SDGs の達成に資する取組 好事例集」に掲載

#### その他、学内の取り組み、今後導入を検討している取り組み

- 使い捨てビニール傘を削減する「アイカサ」新サービスを導入 (2021 年 7 月)
- 図書館による節電の取り組み (2013 年～)
- サステイナブルキャンパスツアー
- アップサイクリングプロジェクト

#### 2) プロジェクトを支える基盤的取組み：教育研究活動・機関

- グローバル共生研究所 (Sacred Heart Institute for Sustainable Futures) 設立
- 聖心女子大学「気候非常事態宣言」発出 (2020 年 5 月に日本の女子大学として初めて、高等教育機関としては 2 番目)
- 「持続可能な社会の創り手育成に向けた PBL の推進」事業報告書刊行

#### 3) 地域に根差した活動：アーバン・サステナビリティ

- 「宮代グリーンプロジェクト」(創立 75 周年に向けたグリーンキャンパス計画)

脱炭素型社会への転換も意識しながら、渋谷区で緑被率 3 位の広尾 4 丁目 (旧宮代町) の緑化を維持・促進する。

### 4. 今後期待される効果

学生の自発的行動と教育活動が同時に行われることにより、持続可能性についての知識と意識が融合され、その効果は常に向上している。今後期待される効果としては、まず「宮代サステイナブルキャンパス プロジェクト～SDGs の先へ～」として大学全体のサステイナブル活動を組織化していくことで、このプロジェクトの主要な担い手である学生と教職員の対話が活発化し、学内協働力と共に教職員の意識改革が進むことが期待される。

サステイナブルキャンパスが、持続可能な社会に向けた行動を決して特別なものではなく、あたり前の行動として認識される場となり、その文化の中で育った学生が本学卒業後もそれぞれの場において高い意識と行動を継続し、そのサステイナブルリーダーシップが次世代社会へ継承されることを期待する。